

ロータリー財団地区補助金・個別プロジェクト終了報告書

提出日 R 7 年 3 月 27 日

第 2720 地区・R 財団
地区補助金委員会 御中

プロジェクト承認番号 DG2563849-13 クラブ名 : 大分臨海ロータリークラブ

プロジェクト名 : 自然とふれあいながら奉仕をしよう！

(プロジェクト終了後2週間以内に報告をお願いします。)

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。

令和6年9月24日 由布市庄内町 小野観光梨園にて酷暑による農作物への影響や農業の大変さを経営者の方から生で聞き、農業の大変さを学びました。その後、梨狩りをAPUの留学生と体験し交流を深め、また会場を移して日本の文化(遊び)を留学生に英語を使って楽しく伝え、BBQでさらに交流を深めました。

収穫した梨は子ども食堂へ寄付し、大変喜ばれ、さつまいもは幼稚園の子どもたちに美味しく食べていただきました。

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのくらいですか。 45 名

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。

プロジェクトはどのような人道的又は教育的なニーズに応えましたか。

インターアクトクラブ会員 及び 留学生

インターアクト生達がロータリーの「奉仕の心」について、楽しみながら学べた。

海外から来た留学生に日本の棚田の原風景と美味しく瑞々しい梨の味覚を堪能していただきました。

また高校生は留学生たちと触れ合うことによりこれからの生活に役立つ良い交流になった。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 12 名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。

プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

インターアクトクラブ会員と留学生が積極的なコミュニケーションを図るサポート

卒業後も交流できる機会を提案

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

証明の署名

本報告書に署名することで、私の知る限りにおいて、地区補助金の資金が管理委員会の指針に準拠し認められた項目にのみ使用され、ここに記された全ての情報が事実であり、かつ正確であることを認めます。補助金資金の全ての支出の領収書を、地区に提出しました。また、私は、本報告書に関連して提出した写真は全て、RIの所有物となり、返送されないことも理解しています。私は著作権を含めこの写真の全ての権利を所有することを認め、時と場所を問わず、いかなる方法、また現在知られている媒体または後に作成される媒体において、使用料なしで写真を使用する取消不能な許可をRIとロータリー財団に与えます。これには必要であれば、RIの独自の裁量により写真に修正を加える権利が含まれます。また、RI及びロータリー財団が、ウェブサイト、雑誌、冊子、パンフレット、展示、その他の推進資料において写真を制限なく使用できる権利も含まれます。

クラブ名: 大分臨海ロータリークラブ 署名日: R 7 年 3 月 26 日

ロータリーの役職: 会長

署名: 横山 茂男

プロジェクト 承認番号 DG2563849-13 クラブ名 : 大分臨海ロータリークラブ
プロジェクト名 : 自然とふれあいながら奉仕をしよう！

＜小野農園さんで農業の大変さを学び・留学生と楽しく梨狩り交流＞



<APU 留学生と日本の遊びを英語を使って交流>



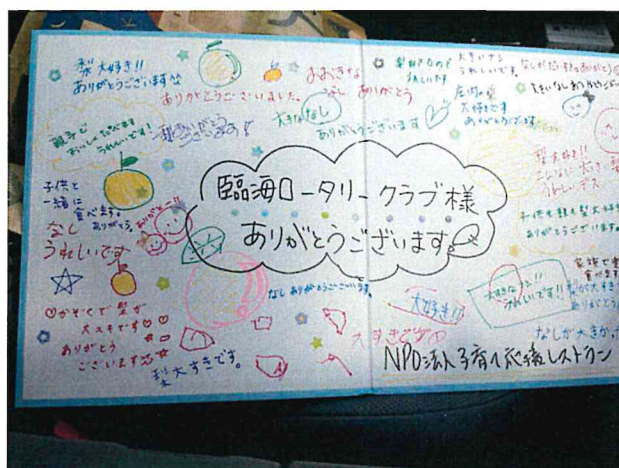
<APU 留学生と BBQ で親睦を深めた>



<収穫した梨を子ども食堂へ寄贈>



<幼稚園生の芋掘り体験>



<幼稚園生からの感謝状>

